



2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月13日

上場会社名 株式会社 スリーエフ
 コード番号 7544 URL <https://www.three-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 浩志
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括マネージャー (氏名) 六川 靖夫
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-651-2111

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	9,301	2.4	277	59.1	316	48.2	2	84.5
2021年2月期第3四半期	9,528	3.1	174	59.4	213	54.9	16	85.9

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 163百万円 (15.0%) 2021年2月期第3四半期 192百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	0.34	
2021年2月期第3四半期	2.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	5,027	4,436	76.0
2021年2月期	5,071	4,543	76.8

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 3,821百万円 2021年2月期 3,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		5.00		5.00	10.00
2022年2月期		5.00			
2022年2月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	0.2	350	114.1	400	85.9	0		0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	7,707,095 株	2021年2月期	7,707,095 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	132,576 株	2021年2月期	132,556 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	7,574,531 株	2021年2月期3Q	7,574,559 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年11月30日)におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルスの感染状況が経済活動に大きな影響を与えました。足元では、ワクチン接種の普及による感染者数の減少と経済活動制限の緩和を背景として個人消費に持ち直しの兆しがあるものの、新たな変異株(オミクロン株)の感染が報告されるなど、依然として先行きが不透明な状況となっております。

コンビニエンスストア業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が一巡したことで、売上は前年を上回っておりますが、コロナ禍前の水準までの回復には至っておりません。

このような環境の下、当社グループは、加盟店と同じ目線で一塊となって経営を推進していくために、「中長期経営計画」(2021年2月期～2027年2月期)において、個店平均日販と加盟店利益の継続的な向上を最重要指標と定め、①「個店力強化」②「加盟店経営の安定化」を重点戦略とした各種施策に取り組むとともに、お客様の利用動向への変化対応を続けながら、目標達成に向けた取り組みを進めております。

当社グループ運営店舗の概況

[ローソン・スリーエフ]

株式会社エル・ティーエフが事業展開する「ローソン・スリーエフ」におきましては、経済活動の制限や緩和による消費者マインドの変化により経営環境が一進一退を繰り返す状況にあります。9月30日に緊急事態宣言が解除された以降は、飲食店への回帰の流れもあり、これまで好調を維持しておりました住宅立地の店舗の売上伸長率には鈍化傾向が見られるものの、オフィス街や駅前立地の店舗の売上は好調に推移し始めており、全体的にはコロナ禍前の水準まで日販は回復しております。

運営面におきましては、個店の利用動向の変化に合わせた販売戦略を進めながら、加盟店の品揃え拡充への経費支援を継続して行いました。

商品面におきましては、ローソン・スリーエフの特徴の一つである「青果」がウイズコロナ時代の生活様式の変化の中でも好調を維持しており「コンビニ」と「青果」が融合した売場づくりは一定の評価をいただいております。その他の独自商品につきましては、中食から外食への回帰により「チルド弁当」や「チルド寿司」の売上の伸びは鈍化傾向にあるものの、「やきとり」は品揃えの拡充やコロナ禍に対応して販売方法の見直しを行ったことなどが奏功し、引き続き前年を上回る売上状況で推移しております。また、9月中旬から独自商品の新たなカテゴリーとして「お総菜」の販売を開始いたしました。スリーエフでご好評をいただいております商品を複製販売し、長年ご利用いただいているお客様には“懐かしさ”を、新たにお買い上げいただくお客様には“スリーエフならではのおいしさ”を感じていただける商品となっております。こちらの売上も好調に推移しております。

店舗開発におきましては、1店舗の新規出店、8店舗の閉店を行った結果、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は335店舗となっております。なお、引き続き、収益改善が見込めない店舗のリロケートも推進してまいります。

[g o o z (グーツ)]

コンビニエンスストアに対するニーズの多様化に対応するため、当社が新型フォーマットとして事業展開する「g o o z (グーツ)」におきましては、緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置の適用などの影響を大きく受け、厳しい経営環境が続いております。9月30日に緊急事態宣言が解除された以降は、行楽需要の回復を背景として週末を中心に来店客数および売上が上昇傾向にあります。平日のオフィス客層や観光ツアー客層などの戻りは遅く、コロナ禍前の水準には届いておりません。

運営面におきましては、国分グローサーズチェーン株式会社のコンビニエンスストア事業撤退に伴い、新たに株式会社ポプラと契約を締結し、10月からはポプラ店舗の仕組みを利用した商品供給体制での運用を開始しております。

商品面におきましては、グーツコーヒーの売上が好調に推移していることから、グーツコーヒーと一緒に楽しみたいだけのように、おすすめの焼菓子や輸入菓子の品揃えを拡充したほか、一部店舗では新たにカウンターフーズとして焼きいも(紅はるか)を展開し、好調に推移しております。また、お客様の食に対するニーズの多様化に伴い、フレッシュ野菜を使用したメニュー、インパクトのある大盛りメニューなど特徴のある店内調理品の販売を開始したほか、パーキングエリア店舗では、物流ドライバー向けのお弁当の品揃え拡充、自己消費型の

商品として地元生産者との取り組みによる青果の品揃え拡充に取り組むなど、店舗の使われ方の変化および新たな客層ニーズに対応する商品展開を実施してまいりました。

店舗開発におきましては、平塚PA店の一部改装を行い、グーツコーヒーの魅力の更なる訴求のため、パーキングエリア店舗では初となる焙煎機を導入いたしました。新たな出店・閉店を行わず、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は4店舗となっております。

以上の結果、新型コロナウイルスに加えて天候不順が影響し、当第3四半期連結累計期間の営業総収入は、93億1百万円（前年同期比2.4%減）となり、営業利益は2億77百万円（前年同期比59.1%増）、経常利益は3億16百万円（前年同期比48.2%増）、連結子会社である株式会社エル・ティーエフ立ち上げ時に発生した繰越欠損金が解消したことにより法人税等の負担額が増加したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は2百万円（前年同期比84.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は44百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産、敷金及び保証金、繰延税金資産の減少等によるものであります。

負債につきましては、61百万円の増加となりました。これは主に未払金、未払法人税等の増加等によるものであります。

純資産につきましては、106百万円の減少となりました。これは主に配当金支払等による利益剰余金の減少、非支配株主への配当金の支払等による非支配株主持分の減少等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月8日に発表しました2022年2月期の連結業績予想について変更はございません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループの事業活動に対する影響は、現時点においては想定内のものとなっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,756	3,890
商品	101	86
貯蔵品	0	0
前払費用	12	19
未収入金	150	169
その他	49	42
貸倒引当金	△0	-
流動資産合計	4,070	4,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	154	140
工具、器具及び備品（純額）	109	83
機械及び装置（純額）	16	16
土地	293	293
有形固定資産合計	574	533
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	39	39
敷金及び保証金	294	256
繰延税金資産	118	14
その他	57	19
貸倒引当金	△83	△45
投資その他の資産合計	426	283
固定資産合計	1,000	817
資産合計	5,071	5,027

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79	69
未払金	217	278
未払法人税等	8	51
未払消費税等	54	54
預り金	16	28
賞与引当金	87	45
その他	14	21
流動負債合計	477	550
固定負債		
資産除去債務	9	9
長期預り保証金	37	26
その他	3	3
固定負債合計	50	39
負債合計	528	590
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	5,814	5,814
利益剰余金	△1,939	△2,013
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,888	3,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	6
その他の包括利益累計額合計	6	6
非支配株主持分	647	614
純資産合計	4,543	4,436
負債純資産合計	5,071	5,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
営業収入		
加盟店からの収入	6,736	6,757
その他の営業収入	43	35
営業収入合計	6,779	6,792
売上高	2,748	2,509
営業総収入	9,528	9,301
売上原価	2,081	1,910
売上総利益	667	598
営業総利益	7,447	7,391
販売費及び一般管理費	7,272	7,113
営業利益	174	277
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	0	0
受取賃貸料	9	9
受取負担金	20	20
その他	5	4
営業外収益合計	39	39
営業外費用		
支払利息	0	-
営業外費用合計	0	-
経常利益	213	316
税金等調整前四半期純利益	213	316
法人税、住民税及び事業税	3	48
法人税等調整額	17	104
法人税等合計	21	153
四半期純利益	192	163
非支配株主に帰属する四半期純利益	175	161
親会社株主に帰属する四半期純利益	16	2

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	192	163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	192	163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17	2
非支配株主に係る四半期包括利益	175	161

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。